

京都・亀岡スタディの調査に参加いただいた皆様へ

京都・亀岡スタディは、高齢者の健康寿命延伸に影響を及ぼす様々な要因を解明するために、亀岡市の全高齢者を対象に亀岡市と連携して続けている追跡研究です。研究を開始したのは平成 23 年 7 月です。その後、平成 30 年 6 月には、亀岡市と京都先端科学大学、医薬基盤・健康・栄養研究所が、亀岡市の住民の幸福度の向上や介護予防施策の実施等に寄与することを目的に、連携協力を推進する包括協定（三者協定）を締結しました。現在は、京都・亀岡スタディもこの三者協定の枠組みの中で実施されています。

京都・亀岡スタディの調査に参加いただいた方におかれましては、研究の主旨・方法についてご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（7）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究課題名》

亀岡市在住高齢者を対象とした京都・亀岡スタディ「Kyoto-Kameoka Study」によって得られたデータの総合的解析

《研究対象者》

平成 23 年度亀岡市日常生活圏域ニーズ調査に参加された方

平成 23 年度から 25 年度にかけて追加郵送調査、身体機能測定会、身体活動量調査、食事・栄養調査、二重標識水調査に参加された方

平成 24 年度から 25 年度にかけて元気アップ講座（多要素総合型介護予防プログラム）に参加された方

平成 25 年度亀岡市二次予防事業対象者把握事業調査に参加された方

《研究期間》許可日～2030 年 3 月 31 日

《研究代表者》京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構 機構長 藤田 裕之

《研究実施機関》京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構（研究責任者：藤田裕之、機構長）

《共同研究機関》東北大学 医工学研究科（研究責任者：山田陽介、教授）

医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター（研究責任者：南里妃名子、室長）

早稲田大学 スポーツ科学学術院（研究責任者：宮地元彦、教授）

東洋大学 健康スポーツ科学部（研究責任者：高田和子、教授）

東京都健康長寿医療センター研究所 介護予防・フレイル予防推進支援センター
（研究責任者：谷出敦子、研究員）

滋賀大学 データサイエンス学部（研究責任者：伊達平和、准教授）

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部（研究責任者：渡邊裕也、准教授）

立命館大学 マネジメント学部（研究責任者：山口美輪、准教授）

《意義》

統計局の人口推計（令和 6 年 10 月 1 日）および厚生労働省介護保険事業状況報告（令和 6 年 10 月分）から推計すると、要介護認定者は 75－79 歳が 11.4%、80－84 歳が 25.8%、85－89 歳が 48.0%、90 歳以上が 73.3%と加齢により指数関数的に割合が高くなっています。高齢になっても自立している期間（健康寿命）を延ばすことは、皆さん一人ひとりの生活の質を高めるだけでなく、医療や介護といった社会保障制度の維持にもつながります。健康寿命延伸と関連のある要因を様々な視点から明らかにすることは健康施策の裏付けとなるため、持続可能な社会の制度設計に寄与すると考えています。

《目的》

本研究では、亀岡市民を対象とした京都・亀岡スタディで収集したデータを解析し、高齢者の健康寿命延伸に影響を及ぼす様々な要因を明らかにすることを目的とします。

（２）研究の方法について

《研究の内容》

平成 23 年度亀岡市日常生活圏域ニーズ調査と補完する追加調査と、身体機能測定調査、多要素介護予防介入プログラム、平成 25 年度亀岡市二次予防事業対象者把握事業調査（第 2 回ニーズ調査）、および亀岡市から提供された公的データを統合した亀岡スタディデータベースを利用し、健康寿命（死亡や要介護、医療費を含む）に及ぼす高齢者における心身の状況および生活状況などについて解析します。

《利用する項目》

亀岡スタディデータベースに収録されている項目

A. 平成 23 年度日常生活圏域ニーズ調査・平成 25 年度二次予防事業対象者把握事業:第 2 回ニーズ調査

1) 質問紙による調査：基本属性、主観的健康感、主観的経済観、医療歴、教育歴、社会参加、基本チェックリスト、転倒リスク評価、Barthel Index、老研式活動能力指標、Cognitive Performance Scale（認知機能障害程度評価）、国際標準化身体活動質問票 IPAQ、Life Space Assessment（移動機能と生活範囲の評価）、その他生活の状況に関する質問項目

B. 上記Aを補完する追加調査

1) 質問紙による調査：ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポート、日常生活動作（ADL）、環境尺度日本語版（IPAQ-E）、生活満足度、高齢期うつ尺度（GDS15）、精神的健康度（WHO-5）、睡眠（ピッツバーグ睡眠質問票：PSQI）、口腔関連 QOL（GOHAI）、SCREEN II（Seniors in the Community: Risk evaluation for eating and nutrition, Version II）、食物摂取頻度調査（FFQ）、簡易栄養状態評価、その他生活の状況に関する質問項目

2) 身体活動量調査：

- a. 3 軸加速度計付き活動量計のデータ
- b. 簡易行動記録票（Koebnick らの方法）による調査からのデータ
- c. Doubly Labeled Water（DLW:二重標識水）によるエネルギー消費量
- d. ソーシャルキャピタル

e. 身体活動質問票 (JALSPAQ)

f. 栄養・食事調査 (食事記録、食物摂取頻度)

C. 身体機能 (体力) 調査

1) 体格・身体組成・体力：身長、体重、BMI、形態 (周径囲、部位長、筋厚、脂肪厚、足形など)、身体組成、垂直跳び、バランス (開眼片足立ち、閉眼片足立ち、ファンクショナルリーチ、タンデムバランス)、握力、長座位体前屈、ステッピング、タイムドアップ&ゴーテスト (TUG)、チェアスタンド、通常歩行 (速度、歩幅、ピッチ)、最大歩行 (速度、歩幅、ピッチ)、二重課題歩行、脚筋力、全身反応時間、口腔機能 (ガム咀嚼力、口腔状態) など

2) 質問紙による調査：体調変化、閉じこもり、健康関連 QOL (SF-36)、身体活動質問票、筋力低下調査、食欲、体重減少、転倒、歩行、精神的健康・認知、病歴・服薬、入院・搬送、痛み、基本チェックリスト、その他生活の状況に関する質問項目

D. 介入研究 (多要素総合型介護予防プログラムの介入)

1) 質問紙による調査：前調査からの体調変化

2) 介入の遵守記録

E. 亀岡市から提供を受けた公的データ

1) 住民基本台帳情報 (死亡・転出等)

2) 介護保険情報 (介護認定、介護レセプト、介護給付費等)

3) 医療保険情報 (医療レセプト、医療費等)

《利用を開始する予定日》2025 年 7 月 2 日

《本研究に用いた情報の二次利用について》

本研究で用いた情報を二次使用する際には、京都先端科学大学アクティブヘルス支援機構のウェブサイトでその旨を開示します。本研究に用いた情報は本研究の終了または研究成果の発表のいずれか遅い方から 10 年間保管された後削除されます。

(3) 個人情報等の取扱いについて

京都・亀岡スタディの情報は、研究倫理審査委員会による研究計画の承認を経て利用されています。亀岡市の公的データは亀岡市情報公開・個人情報保護審議会の審議を経て提供されています。氏名など個人が特定できる情報は亀岡市が管理しています。亀岡市は、氏名など個人が特定できる情報を数値 (ID) に置き換えたデータセットを作成し、京都先端科学大学と医薬基盤・健康・栄養研究所と共有します。他の共同研究機関には要配慮個人情報削除されたデータセットを共有します。氏名など個人が特定できる情報と ID の対応表は亀岡市で研究終了時まで厳重に保管されます。本研究への同意を撤回された場合は、対応表を用いて同意撤回の申請のあった方のデータを削除します。

(4) 研究成果の公表について

新しい知見や独創的な成果が得られた場合は学会発表等で広く公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（５）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方が希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（７）の問い合わせ先へご連絡ください。

（６）利用の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の方の求めに応じて、対象者の方の試料・情報（データ）を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（７）にご連絡ください。

（７）本研究に関する問い合わせ先

お問い合わせいただきましたら研究責任者（機構長：藤田裕之）等が対応いたします。

研究全般に関する問い合わせ先

担当：京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構

木村みさか

住所：〒621-0022 亀岡市曾我部町南条大谷 1-1

kameoka.kuas@gmail.com

09042996491（専用電話が必要）